



第39号

発行・編集：福祉のネットワーク永山

事務局：(社福) 多摩市社会福祉協議会

TEL：042-373-5616

令和2年12月

福祉のネットワーク永山だより

～誰もが安心して暮らせる地域を目指して～

見守りと支え合いの活動

第2回 福祉のネットワーク永山定例会
 「地域での支え合い
 ～多摩市百草団地自治会の取り組み～」
 日時 11月21日(土) 10時～12時
 場所 諏訪地区市民ホール 第1会議室

第2回定例会では、「多摩市百草団地自治会 みまもりの会」が行っている「困りごとの支え合い活動」について、自治会の松田会長と住安副会長が職員からの質問に答える形で報告した。

活動を始めたきっかけ

同団地は新しく入居する人も多いが、高齢化率は50%を超え、一人暮らしも多く、日常的に困りごとの相談が寄せられている。例えば、電球の取り換えやテレビのスイッチの入れ方が分からないといった日常のことから、病院の付き添いのような相談まで多様な内容である。また、防災訓練の際には、集合場所を間違えてしまう人がいたり、車いすの準備が必要だったり、団地内での高齢化を実感し、個別の見守りや支え合いの必要性を感じた。

アンケート調査の実施

地域の支え合い活動に取り組むに際してアンケート調査を実施した。86世帯中74世帯が回答し、そのうち46%が一人暮らし、36%が高齢者世帯、69世帯が見守りを希望していた。

～どのような支え合いを希望しているか～

1) サロン、体操、ボランティア活動などへの勧誘	9
2) 買い物等生活支援	5
3) 電球、電池交換等簡単な修理	11
4) 災害時の確認訪問	34
5) 定期的な訪問、声掛け	10

結果を踏まえて、「定期的な見守り」と「困りごとの支え合い」の二つの活動を進めることとし、主に自治会役員で構成される「見守り相談員」がその役割を担っている。「定期的な見守り」の中には、近年多発している台風や地震などの自然災害の

前後での連絡も含まれており、安否確認の連絡は非常に喜ばれている。

古くから付き合いのある住民ほど、ちょっとしたお手伝いに対して過大な謝礼を用意されることもあり、「みまもりの会」では1人1時間200円の利用料を設定した。

現在16人の「見守り相談員」が、男女ペアで訪問するため、相談しやすいメリットがある。「見守り相談員」もいずれは見守られる立場になる。「今のうちにどのような支えを望むかを将来のサポーターに残しておくといい」と松田会長は話す。



自治会員でない人への対応をどうするかや、世代交代等の課題を感じつつも、お互いが支え合える地域を目指すことは永山にも共通するものではないか。

◇瓜生小地区防災連絡会防災訓練

■日時：11月15日（日）

■場所：瓜生小学校

地域活動のご紹介♪



新型コロナウイルス下での避難所運営はいかにあるべきか？今回の訓練は、三密を避けるため校庭のみでの訓練となった。17団体86人の参加があったが、安否確認のほか消火栓や防災倉庫の確認、避難経路における危険個所の点検など、各団体が避難所までのまち歩きで、安全性の確認をした。



水野校長先生からは、子どもの安全と学校の防災の取り組みについての話があり、多摩消防署員からは火災予防や住宅火災時の注意点についての講話があった。新型コロナウイルスの影響が長引く中、地震や豪雨災害が発生した場合の対処法については今後の大きな課題である。

福祉のネットワーク永山とは

☆福祉のネットワーク永山の事業で新たな仲間づくりを！

福祉のネットワーク永山は、永山地区の各団体や住民同士が連携することで様々な地域課題に向き合い、取り組んでいます。皆さまのご参加お待ちしております！

☆福祉のネットワーク永山 今後の予定

- 定例会：奇数月第3土曜日 10時～12時 東永山複合施設
- 瓜生小地区防災組織担当者連絡会：偶数月第3土曜日など
- 永山小・多摩永山中地区防災情報連絡会：偶数月第3土曜日
- さんぽ会：毎月第1・3水曜日 グルメシティ前10時集合
- まち歩き：毎月第2火曜日 参加希望者は当日集合場所へ（行先・集合場所は事務局へお問い合わせください）
- 見守りウォーキング：毎月第2・4月曜日 15時30分集合
瓜生地区：グルメシティ前（永山商店街内）
永山地区：グリナード永山2F マクドナルド前
- 体操サロン：毎月第2水曜日 13時30分～15時30分
諏訪地区市民ホール 1階第1会議室



▲定例会の様子

※今年度はさんぽ会、まち歩きは中止します。見守りウォーキングは10月より再開しています。子どもたちの見守りしながら、地域を歩きませんか？

<ま・ち・か・ど>



瓜生小学校への通学路に、枯れ木の伐採の跡が大きな窪みになり、そこに雑草が生い茂り、その窪みに自転車が突っ込む事例があった。小学生の通学路なので自転車が巻き込まれることも考えられ、危険な状態が続いており早急に補修の必要があった。

見守り活動をしている父兄の方々とも相談し、市の担当部署に連絡し補修してもらう事になった。なるべく早くとの依頼であったが、連絡から3日で補修完了という迅速な対応に、子供たちはもちろん先生方や父兄にとっても安心と感謝の気持ちが一杯であった。



<補修前>



<補修後>

